

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社 アイフリーク モバイル
 コード番号 3845 URL <http://www.i-freek.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 彩美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理部長 (氏名) 紀伊 克彦

TEL 092-471-5211

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	128	—	△16	—	△16	—	△17	—
28年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△1.47	—
28年3月期第1四半期	—	—

(注)平成28年3月期第1四半期は、連結財務諸表を作成しているため、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	472	55	11.5	4.59
28年3月期	522	73	13.6	6.05

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 54百万円 28年3月期 71百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	574 ～600	12.1 ～17.2	△16 ～2	—	△18 ～0	—	△23 ～△5	—	△1.95 ～△0.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	11,776,900 株	28年3月期	11,776,400 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	300 株	28年3月期	300 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	11,776,506 株	28年3月期1Q	11,738,805 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日本銀行による緩和的な金融政策により当面の景気は下支えされている一方、株式市場の低迷や円高の進行もあり、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連するモバイルコンテンツ業界におきましては、携帯電話利用者のスマートフォン（以下「SP」という。）への移行やタブレット端末の利用者増加に加え、手軽さと気軽さを兼ねたスタンプやデコレーションメール等のコミュニケーションツールとしての利用や電子書籍の閲覧としての利用等により、モバイルコンテンツの利用シーンは拡大しております。

このような経営環境のもと、当社は引き続き、モバイルコンテンツ事業の持続的な成長と関連事業の育成を進めてまいりました。

コミュニケーションコンテンツ領域（『デココレ』、『photodeco+』等）におきましては、「ちびまる子ちゃん」のタイアップ企画第2弾といたしまして、限定コンテンツの配信や壁紙メーカーの提供を実施するなど、ユーザーの継続利用の促進施策によるサービス強化を進めてまいりました。

ファミリーコンテンツサービス領域（『森のえほん館』等）におきましては、電子絵本・印刷絵本の双方において子供に読ませたい絵本作品を選出する「森のえほん館大賞2016」の開催、株式会社銀座コージーコーナー監修の絵本第2弾の配信など、更なる認知と普及に向けた取組みを実施しました。

関連事業の育成におきましては、スタンプ配信アプリ『stapa!』にて、Facebook「Messenger」に続きLINEのスタンプ送信サービスを開始いたしました。また、オリジナル作品投稿コミュニティ『Pictbox』にて、各種コンテストの開催等の取組みを行いました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高128,860千円、営業損失16,213千円、経常損失16,629千円、四半期純損失17,268千円となりました。

なお、当社はモバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントの業績の記載を省略しております。

(注) 製品名及びサービス名は商標又は登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

流動資産は、前事業年度末に比べて48,006千円(10.9%)減少し、390,825千円となりました。これは主として、前払費用が3,499千円増加したものの、現金及び預金が32,325千円、売掛金が20,152千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1,886千円(2.3%)減少し、79,840千円となりました。これは主として、無形固定資産が1,686千円増加したものの、有形固定資産が2,490千円、投資その他の資産が1,083千円減少したことによるものであります。

繰延資産は、前事業年度末に比べて485千円(25.0%)減少し、1,457千円となりました。

以上の結果、総資産は、前事業年度末に比べて50,379千円(9.6%)減少し、472,124千円となりました。

②負債の状況

流動負債は、前事業年度末に比べて167,176千円(68.8%)増加し、410,177千円となりました。これは主として、買掛金が4,488千円、短期借入金が10,000千円、1年内返済予定の長期借入金が10,988千円、未払金が5,200千円減少したことと、社債200,000千円を固定負債から振り替えたことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて200,024千円(96.9%)減少し、6,407千円となりました。これは主として、社債200,000千円を流動負債へ振り替えたことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前事業年度末に比べて32,847千円(7.3%)減少し、416,584千円となりました。

③純資産の状況

純資産は、前事業年度末に比べて17,531千円(24.0%)減少し、55,539千円となりました。これは主として、四半期純損失を17,268千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による当第1四半期累計期間の四半期財務諸表に与える影響はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度におきまして、モバイルコンテンツ事業を営んでおりました連結子会社を吸収合併し、従来の「純粋持株会社体制」から「事業会社体制」に移行いたしました。さらに、固定費の圧縮を実施するとともに、昨今の経済情勢の変化に対応するため、より一層のお客様視点に立った事業運営を目指し、『デココレ』『photodeco+』等のコミュニケーションコンテンツ領域及び『森のえほん館』等のファミリーコンテンツサービス領域の一層のサービス強化を進めてまいりました。この結果、営業キャッシュ・フローは大幅に改善しましたが、営業利益は継続的な利益の確保がなされず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると判断しております。

この改善策といたしまして、収益基盤の確立を進める一環として、業務の見直しと効率化を実施し、機動的に部門収益の改善を進めております。併せて、事業部門と管理部門が一体となり、より一層の経費削減を進め収益改善に努めております。

以上のような諸施策を進めるとともに、事業資金面につきましても、引き続き取引金融機関と良好な関係にあり、当面の事業資金の確保はなされていることから、少なくとも今後1年間の資金繰りに重大な支障をきたすような状況にはないため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載には至りませんでした。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	313,006	280,681
売掛金	111,455	91,302
有価証券	14	14
前払費用	10,469	13,969
未収還付法人税等	4,111	5,058
その他	51	3
貸倒引当金	△276	△203
流動資産合計	438,832	390,825
固定資産		
有形固定資産	23,427	20,937
無形固定資産	22,456	24,142
投資その他の資産	35,843	34,760
固定資産合計	81,727	79,840
繰延資産	1,943	1,457
資産合計	522,503	472,124
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,638	6,150
短期借入金	180,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	10,988	—
1年内償還予定の社債	—	200,000
未払金	17,421	12,220
リース債務	3,237	2,171
未払消費税等	2,450	3,872
その他	18,263	15,762
流動負債合計	243,000	410,177
固定負債		
社債	200,000	—
繰延税金負債	1,184	1,147
資産除去債務	5,247	5,259
固定負債合計	206,432	6,407
負債合計	449,432	416,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	654,310	654,342
資本剰余金	654,315	654,347
利益剰余金	△1,231,188	△1,248,457
自己株式	△34	△34
株主資本合計	77,402	60,197
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,102	△6,098
評価・換算差額等合計	△6,102	△6,098
新株予約権	1,770	1,440
純資産合計	73,070	55,539
負債純資産合計	522,503	472,124

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	128,860
売上原価	57,595
売上総利益	71,265
販売費及び一般管理費	87,479
営業損失(△)	△16,213
営業外収益	
貸倒引当金戻入額	713
その他	56
営業外収益合計	769
営業外費用	
支払利息	641
社債発行費償却	485
その他	57
営業外費用合計	1,185
経常損失(△)	△16,629
特別利益	
新株予約権戻入益	327
特別利益合計	327
税引前四半期純損失(△)	△16,301
法人税、住民税及び事業税	1,004
法人税等調整額	△36
法人税等合計	967
四半期純損失(△)	△17,268

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。